

<実効税率の変更に伴い、土地再評価差額金の取崩しを行った場合の入力例>

【質問】

実効税率の変更に伴い、土地再評価に係る繰延税金負債の金額に異動が生じたため、土地再評価差額金の調整が必要となりました。

その場合、当期末の別表調整はどのように行えますか？

(当期の会計処理)

当期末の法定実効税率が 30%から 35%に改正されたため下記の仕訳を計上しました。

(借) 土地再評価差額金 500 (貸) 繰延税金負債 500

(過年度の会計処理)

土地再評価前の簿価は 10,000 だったが、再評価後の簿価は 20,000 となり、その当時の実効税率は 30%だったため、下記の仕訳を計上しています。

(借) 土地 10,000 (貸) 土地再評価差額金 10,000

(借) 土地再評価差額金 3,000 (貸) 繰延税金負債 3,000

※下記の画面で期首残高が引き継がれています。

■ 「332-1.法人税ワーキングシートの入力①」 WS

[別表 4・5(1) : 所得金額の計算基礎 (必須)] > [留保 3] タブ

当期利益 利益準備金等 留保1 留保2 留保3 流出・加算 流出・減算 税効果1 税効果2 評価差額 繰延ヘッジ損益							
6. 消費税等に係る特殊な別表調理が必要な場合に入力してください。							
行	別表四・五(一)の摘要		期首利益積立金 (メニュー331-1で入力・修正)	調整区分	加 算	減 算	差引翌期首 利益積立金額
1	四						-10,000
	五(一)	土地	-10,000				
2	四						7,000
	五(一)	土地再評価差額金	7,000				

[別表 4・5(1) : 所得金額の計算基礎 (必須)] > [税効果 2] タブ

当期利益 利益準備金等 留保1 留保2 留保3 流出・加算 流出・減算 税効果1 税効果2 評価差額 繰延ヘッジ損益							
10. 別表四に加算(減算)する「法人税等調整額」の別表五(一)への内訳記載内容を入力してください。							
法人税等調整額(C)		加減区分		加算			
		金額		0			
内 訳	別表五(一)の摘要	期首現 在 利益積立金額① (メニュー331-1で入力・修正)	適格合併等引継(増③) (別表5(1)適格合併等の利益 積立金等引継 WSで入力・修正)	当期の增減			差引翌期首現在 利益積立金額④
	繰延税金資産			増③	減②		
	繰延税金負債	3,000					3,000
	小計	3,000					3,000
計(D)							
差異確認(C-D)				0			

【回答】

当期に計上した「土地再評価差額金 500」は[別表 4・5(1) : 所得金額の計算基礎（必須）] > [留保 3]タブの「五（一）」の「減」に、「繰延税金負債 500」は[別表 4・5(1) : 所得金額の計算基礎（必須）] > [税効果 2]タブの「増③」に登録します。

■ 「332-1.法人税ワーキングシートの入力①」

[別表 4・5(1) : 所得金額の計算基礎（必須）] > [留保 3]タブ

別表四・五（一）の摘要		期首利益積立金 (メニュー331-1で入力・修正)	調整区分	加 算	減 算	差引翌期首 利益積立金額
行				増	減	
1	四					
	五（一）	土地	-10,000			-10,000
2	四					
	五（一）	土地再評価差額金	7,000		500	6,500

※「留保 3」タブで「四」に同額を登録していないため、下記のメッセージが表示されますが、そのまま「入力終了」ボタンをクリックして進んでください。

「留保3」タブの入力確認

別表四の加減算の合計額 ①	別表五（一）の増減の合計額 ②	差額(① - ②)
0	-500	500

「別表四の加減算の合計額」と「別表五（一）の増減の合計額」が一致していません。
入力漏れや入力した金額に誤りがないか確認してください。

[別表 4・5(1) : 所得金額の計算基礎（必須）] > [税効果 2]タブ

別表四に加算(減算)する「法人税等調整額」の別表五（一）への内訳記載内容を入力してください。						
内訳	法人税等調整額(C)	加減区分		加算		差引翌期首現在 利益積立金額④
		金額		増③	減②	
	別表五（一）の摘要	期 首 現 在 利益積立金額① (メニュー331-1で入力・修正)	適格合併等引継(増③) (別表5(1)適格合併等の利益 積立金等引継」WSで入力・修正)	当 期 の 増 減		
内 訳	繰延税金資産			増③	減②	
	繰延税金負債	3,000		500		3,500
	小計	3,000		500		3,500
	計(D)			500		
	差異確認(C-D)				-500	

※法人税等調整額と不一致のため、下記のメッセージが表示されますが、そのまま

「キャンセル」ボタンをクリックして進んでください。

エキスパートチェック

×

i 別表4に加算(減算)する「法人税等調整額(C)」が、
「計(D)」の額と一致していません。
「法人税等調整額(C)」の内訳入力を行いますか？

OK

キャンセル

申告書は下記の表示となります。

■別表4

影響しません。

■別表5 (1)

区分	期首現在利益積立金額	当期の増減			差引翌期首現在利益積立金額	
		当期の増減		差引翌期首現在利益積立金額		
		減	増			
利益準備金	1					
積立金	2					
繰延税金負債	3	3,000		500	3,500	
土地	4	△ 10,000			△ 10,000	
土地再評価差額金	5	7,000	500		6,500	

上記の登録により、検算差額は発生しません。

■別表4と別表5(1)の確認表

●別表四と別表五(一)の確認表

期首現在利益積立金額 合計(別表五(一)の①)①	別表四留保所得 金額又は欠損金額 (別表四の②)②	中間分、確定分法人税 県民税市民税の合計額 (別表五の③)③	差引金額 (①+②-③)	差引金額と差引翌期首現在 利益積立金額合計(別表五 (一)の④)との差額(注)
0	0	0	0	0

(注) 当入力例は、処理の一例です。実際に入力する際は、顧問税理士等にご相談のうえ、各企業の処理方法に基づいて入力してください。